

ごちそうさま、のその先へ。
リユース容器シェアリングサービス



株式会社カマン
代表取締役 善積真吾



「パパー！
ハイッ、ごみー。」



Problem

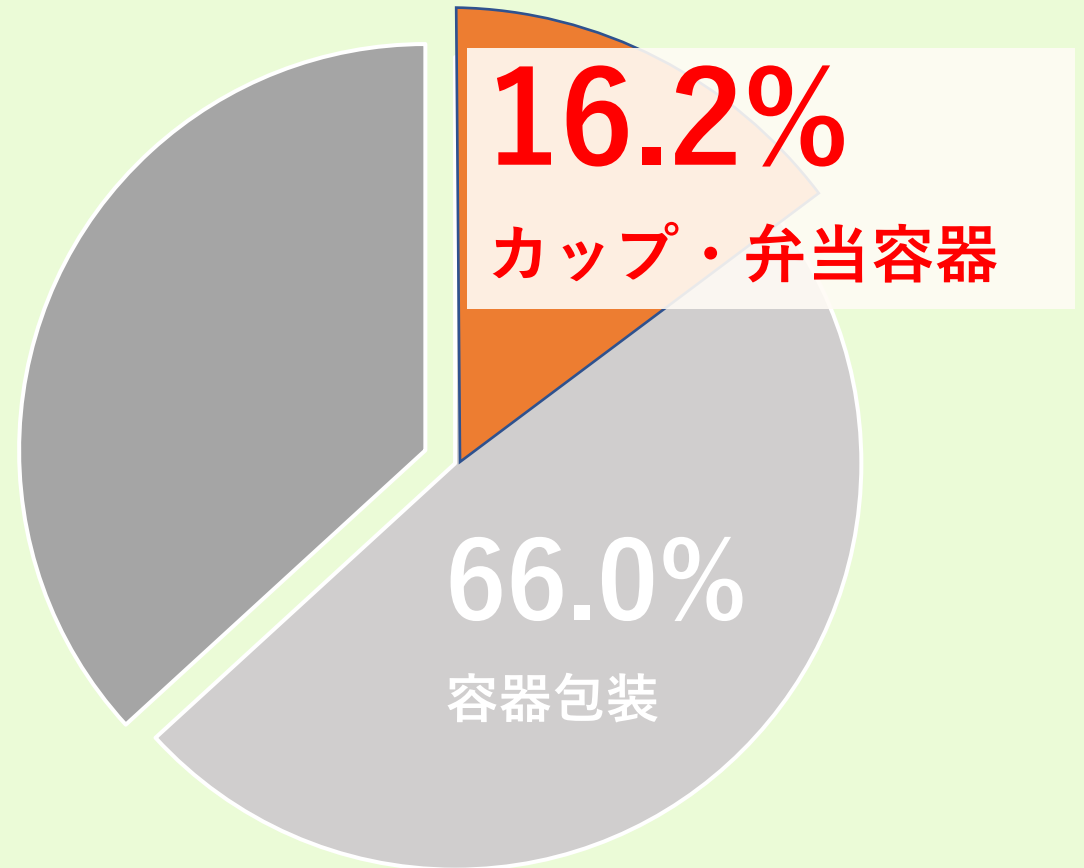


81%

テイクアウト後のゴミで罪悪感を感じる

※N=91 弊社独自アンケートより

家庭ごみの分析（容積比）



容器包装廃棄物の使用・排出実態調査の概要(令和3年度)

石油由来

非生分解

CO2増加

自然に還らない

地球温暖化

海洋プラごみ増加

Solution

リユース容器シェアリングサービス

Before



使い捨て容器



ゴミ箱へ

After



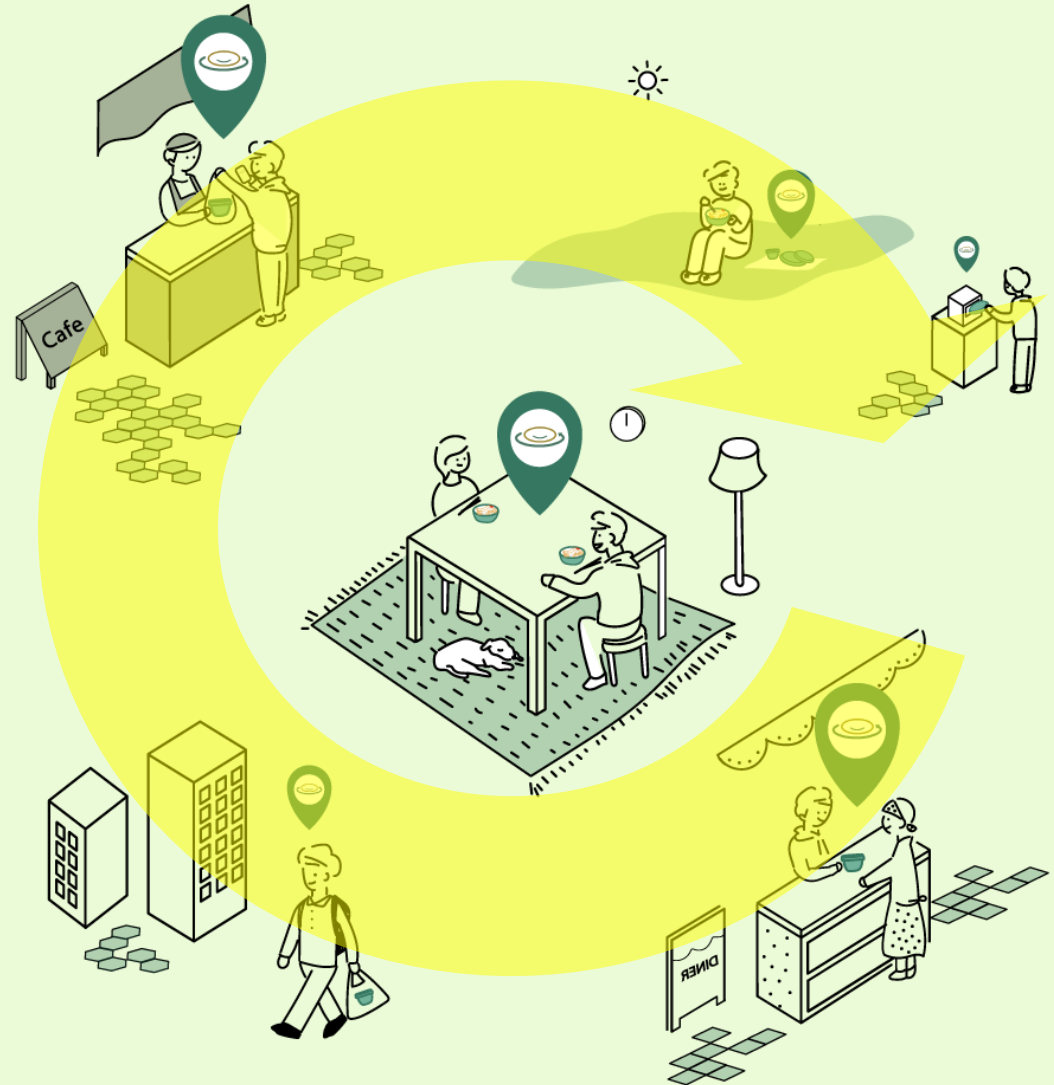
リユース容器



繰り返し利用



地域共通のリユース容器をみんなでシェア スマホで簡単に借りられ、返却は対応店舗どこでもOK。



飲食店のテイクアウトごみが、
なくなるとしたら。

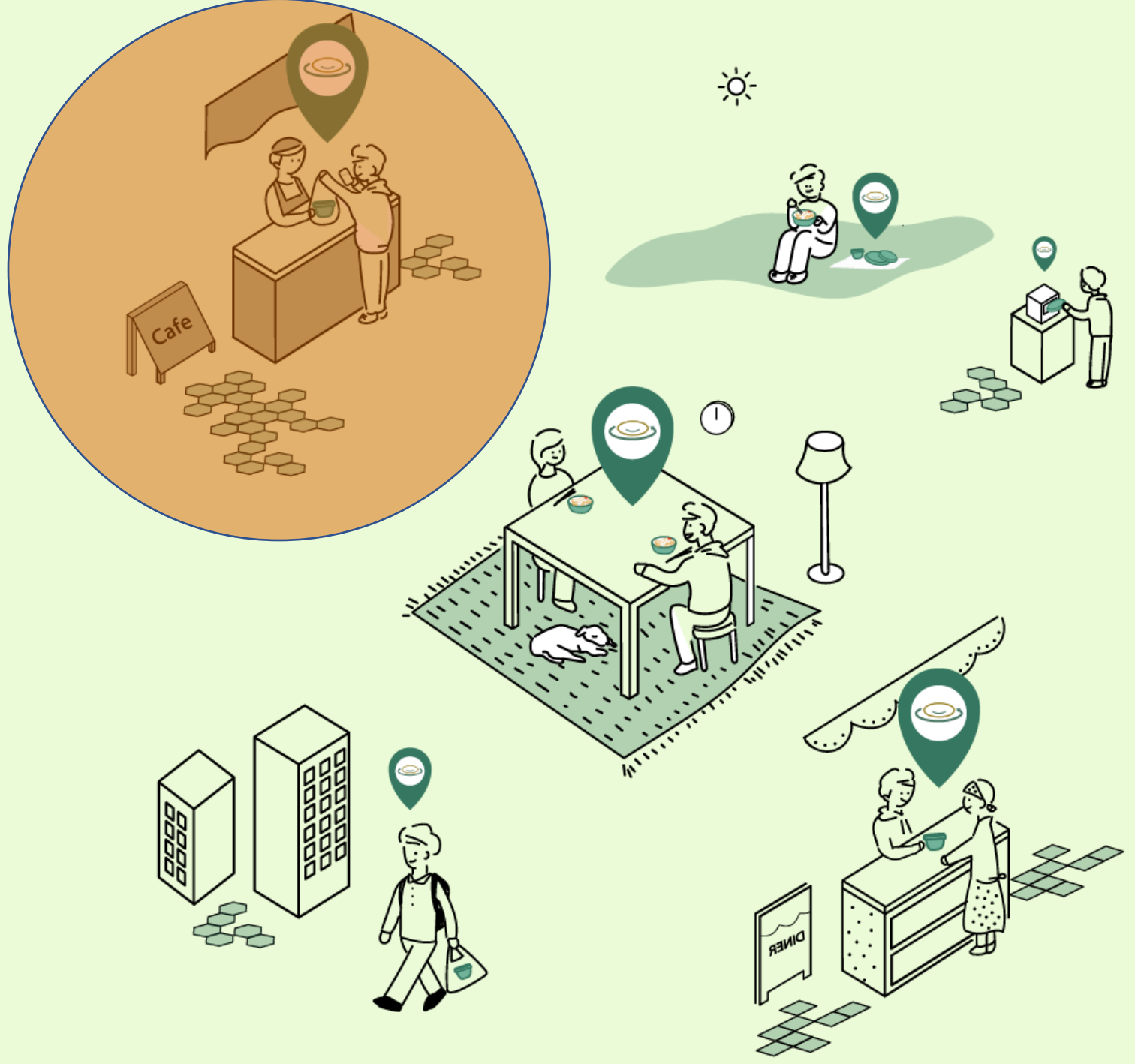


Meglooの使い方

①店頭テイクアウト時



LINEアプリで簡単に容器を借りてテイクアウト

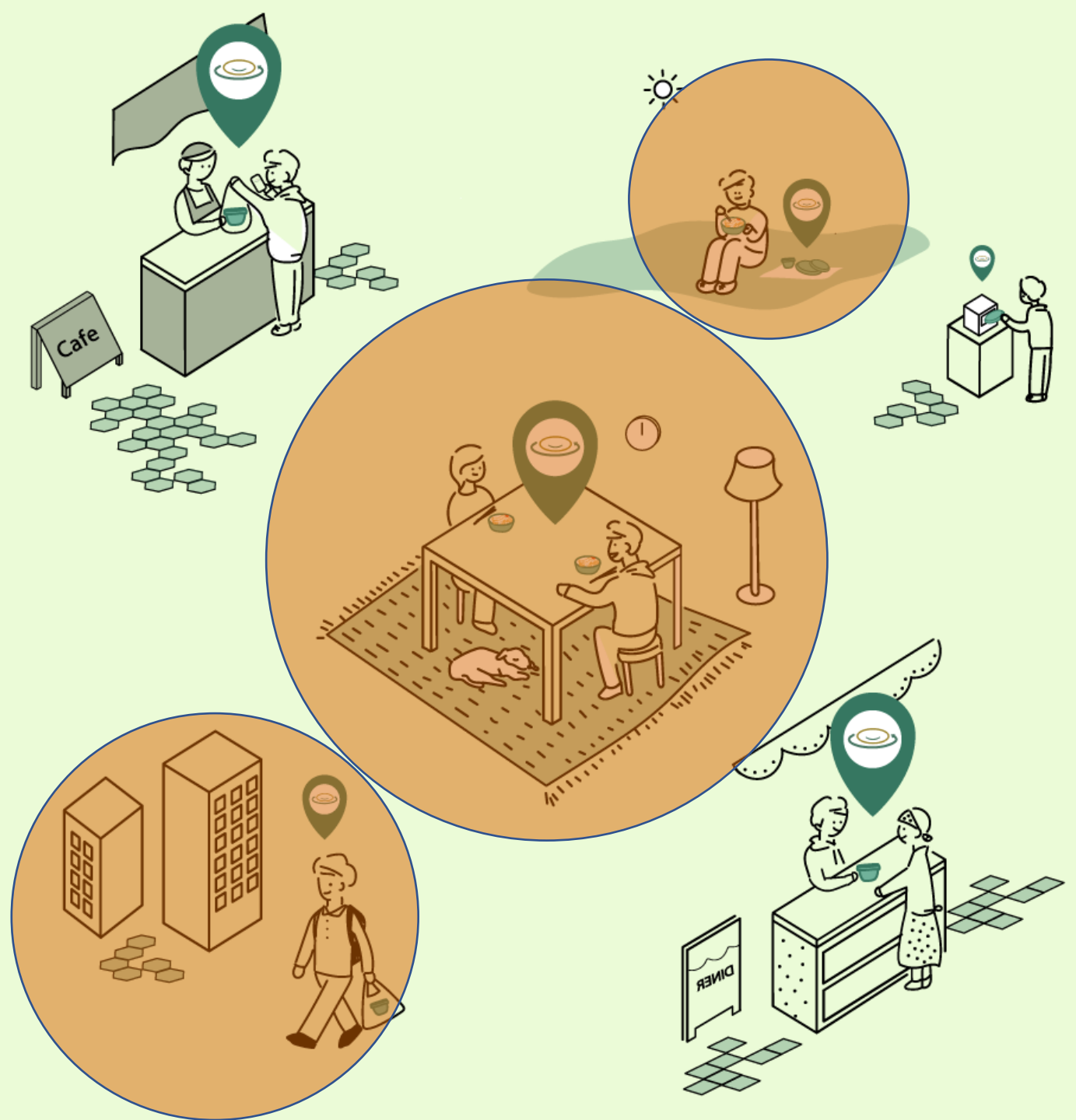


Meglooの使い方

②ご利用時



レンジOK!
美味しくいただきます!



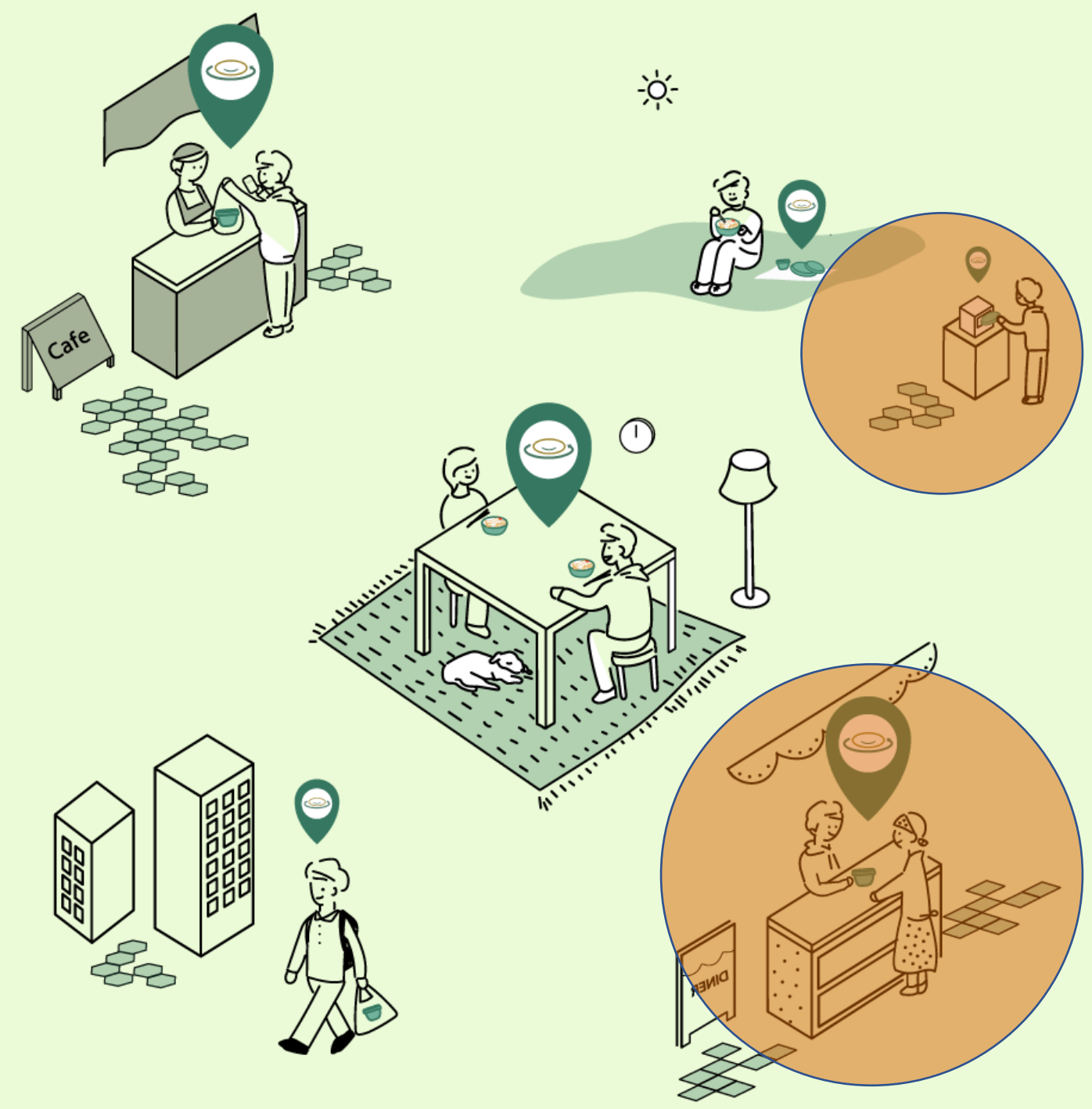
Meglooの使い方

③返却時



(1)対応店舗 (2)返却BOX

最寄りの対応店舗に返却
or 返却BOXに返却



Meglooの使い方

④返却後



飲食店が食洗機でしっかり
洗浄し、再利用



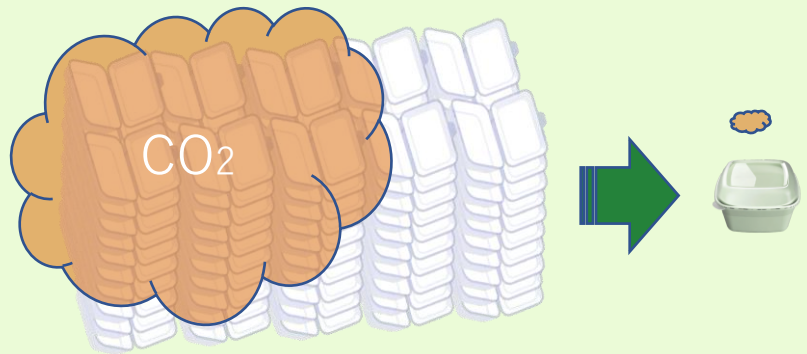
新規性・独創性

シェアリングに最適な形状

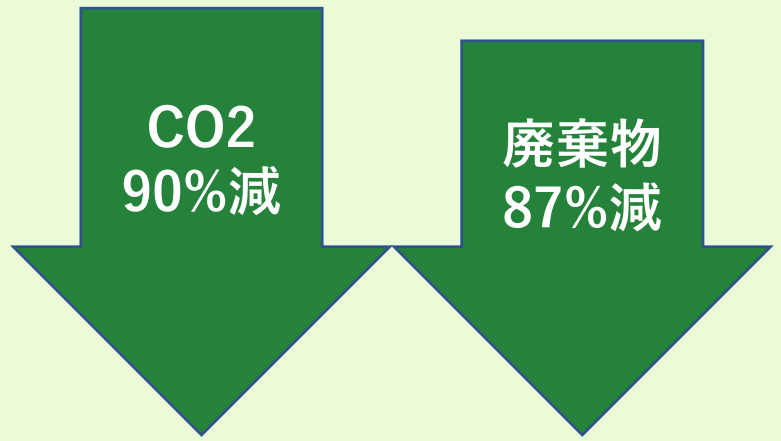
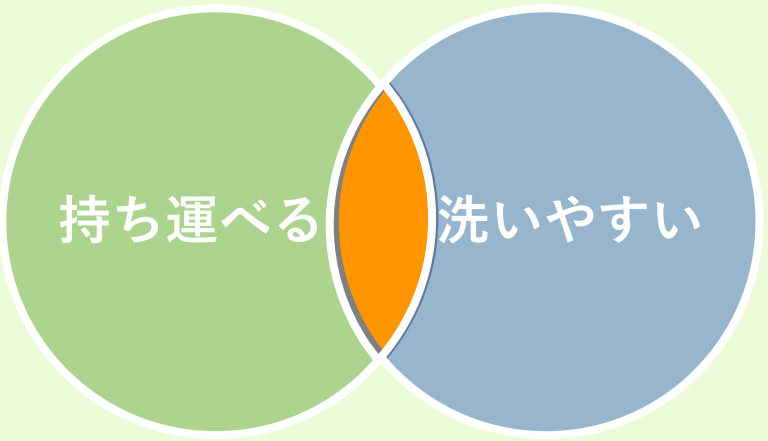


丈夫&環境負荷の低い素材

500回以上繰り返し使えます



アプリ利用で返却率UP



世界の動き



2023年よりテイクアウト時に**再利用食器の選択肢付与が義務化**
→リユース容器シェアリングサービスが広がっている



Vytal



国内加盟飲食店数
(2022/12/7現在)

3622

3362

1053



フランスでは2023年リユース食器5%、2027年10%に到達させる
[3Rに関する国家戦略](#)



オランダでは2023年7月から使い捨て容器税。
弁当 0.5€、カップ 0.25 €



世界的にリユースの流れが加速

プラスチック汚染に関する条約制定

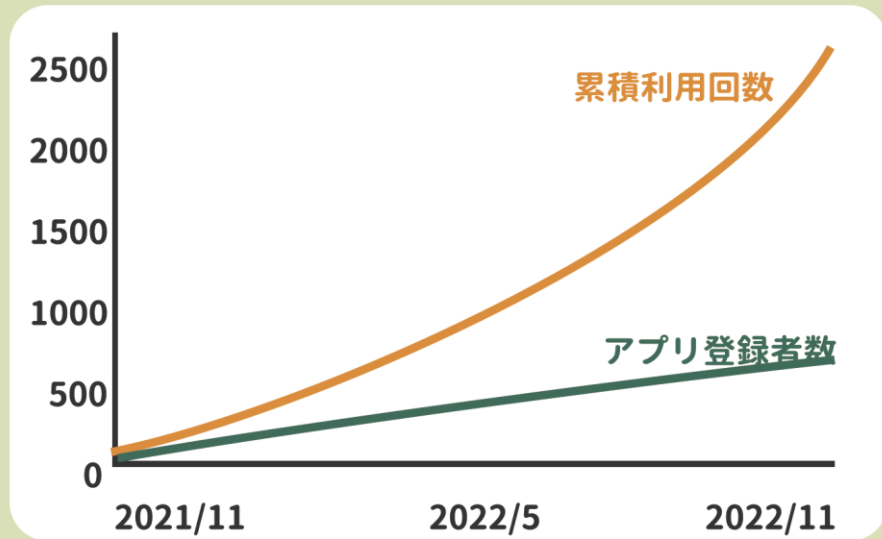
プラスチック汚染に関する条約策定に向けた交渉の状況



- **2019年6月 G20大阪サミット**
 - 日本主導で**大阪ブルー・オーシャン・ビジョン**を共有：「2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減することを目指す。」
 - 本ビジョンを共有する国は87カ国・地域まで拡大。
- **2022年3月 国連環境総会 (UNEA)**
 - プラスチック汚染に関する**条約策定**に向けた**INC (政府間交渉委員会) の設置**を決議
- **2022年11月～12月 政府間交渉委員会第1回会合 (INC1) (ウルグアイ)**
 - 議長 (ペレー前外相) が選出され、**交渉が正式に開始** (約150か国から2300人以上が参加)
- **2023年4月 G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合**
- **2023年5月 G7広島サミット**
 - プラスチック汚染に関するG7目標：「我々は、2040年までに追加的なプラスチック汚染をゼロにする野心を持って、プラスチック汚染を終わらせることにコミット」
- **2023年5月29日～6月2日 INC2 (仏)** (約170か国から1700人以上が参加)
 - 条約の主な要素 (条約の目的及び目標・削減対策・資金支援・報告事項・科学等) について、有力な選択肢を絞り込んでいくための議論を実施
 - 議論を踏まえ、次回INC3までに議長が**条文案を作成することを決定**
- **2023年 11月 INC3 (ケニア)**、**2024年 4月 INC4 (加)**
- **2024年 11月 INC5 (韓)** **条約内容の合意を目指す**

実現可能性

鎌倉市でβ版実証実験
(2021年10月～)



地域・
事業拡大

利用者数/利用回数/
店舗数堅調に推移



① ローカルSDGsモデル
全国7都市展開 (22/10～)



② イベントモデル
大型催事で実証実験(22/10～)



③ 大都市モデル
渋谷区で実証実験 (22/10～)

神奈川県社会・経済への貢献性

かながわプラごみ
ゼロ宣言



- ・ 使い捨てプラごみ削減 → **4.2t**/年間削減
- ・ 脱炭素 → **27.9t-CO2**/年間削減
- ・ 脱炭素型ライフスタイルの啓蒙 → **40万人**/年間認知

【前提】
1,000回/日の利用, 200日/年
PSP使い捨て容器21g焼却と比較
Megloo平均100回/個利用してリサイクル

「かながわ脱炭素ビジョン2050」の実現に向けて、
脱炭素に向けたライフスタイルの変容を実践します

課題

- ・湘南エリアでもっともっと使われる仕組みにしたい！
 - 行政との連携
 - スポンサー開拓
 - 飲食店や返却スポットの拡大
 - 飲食店内でのプロモーション
 - イベント連携

「捨てる」から
「めぐる」社会へ





MEGLOO

“ごちそうさま”の、その先へ。